

第3回山岳自然環境セミナー開催要項

主催 山岳団体自然環境連絡会

主催者構成メンバー：(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会、日本勤労者山岳連盟、
(公社)日本山岳会、(NPO 法人)日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト、(公社)
東京都山岳連盟、(公社)日本山岳ガイド協会、山はみんなの宝クラブ

メインテーマ：「山は誰が守るのか～山小屋から見た山の環境～」

私たち日本人は、山を畏れ敬い、山のもたらす豊かな恵みに感謝して生きてきました。
この山に登りながら、誰が山の自然環境を守り、誰が登山道を維持管理しているのか、誰が
その費用を負担しているのか、普段、私たちは深く考えずに山に親しんで来ました。

本セミナーは、宿泊施設の提供、登山道の維持管理、遭難者の救助活動、自然環境の保全
など、登山者が安全・快適に山を楽しめるサービスを提供してきた、山小屋の公共的な役割
の現状と課題をテーマに開催するものです。

これからの山の適正な利用のあり方や、山の自然環境保全を考える良い機会であり、多
くの方のご参加を期待しています。

記

○日 程：2020年3月29日(日)13時～17時

○開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟00号室
(〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1)

○主要行事：

基調講演：「日本の山が危ない～登山の経済学～」

講演者 週刊ダイヤモンド編集部

鈴木洋子

パネルディスカッション「山の保護と利用における、行政と山小屋の役割」

(1) パネリストからの報告

「山岳利用の現状と課題」環境省自然環境局自然環境情報分析官

徳丸久衛

「三ツ峠での自然保護活動の歩み」三ツ峠山荘

中村光吉

「山小屋の現場から見た登山の現状」殺生ヒュッテ

蒲池さよ子

(2) 討議&質疑応答：モデレーター 山岳団体自然環境連絡会代表幹事

岡田博行

○参加費(資料代)：700円

○参加予定人数：100人

○申し込み先：山岳団体会員は、所属団体にお申し込みください

一般参加者 山岳団体自然環境連絡会事務局(幹事団体：東京都山岳連盟)

担当者 日本勤労者山岳連盟 自然保護委員会林祥介

Email: nd2123@ca2.so-net.ne.jp Fax(TEL):03-3421-4782

詳細プログラム

1. 12:30 受付開始
2. 13:10~13:15 開会挨拶
3. 13:15~14:00 基調講演
「日本の山が危ない~登山の経済学~」
週刊ダイヤモンド編集部 鈴木洋子
4. 14:00~14:10 休憩
5. 14:10~15:40 パネリストからの報告
* 14:10~14:40 「山岳利用の現状と課題」
環境省自然環境局自然環境情報分析官 徳丸久衛
* 14:40~15:10 「三ッ峠での自然保護活動の歩み」
三ッ峠山荘 中村幸吉
* 15:10~15:40 「山小屋の現場から見た登山の現状」
北アルプス殺生ヒュッテ 蒲池さよ子
6. 15:40~15:50 休憩
7. 15:50~16:40 パネルディスカッション
テーマ:「山の保護と利用における、行政と山小屋の役割」
モデレーター 山岳団体自然環境連絡会代表幹事 岡田博行
8. 16:40~16:45 閉会挨拶
*都合により、プログラムの内容が変更となる場合がございます。